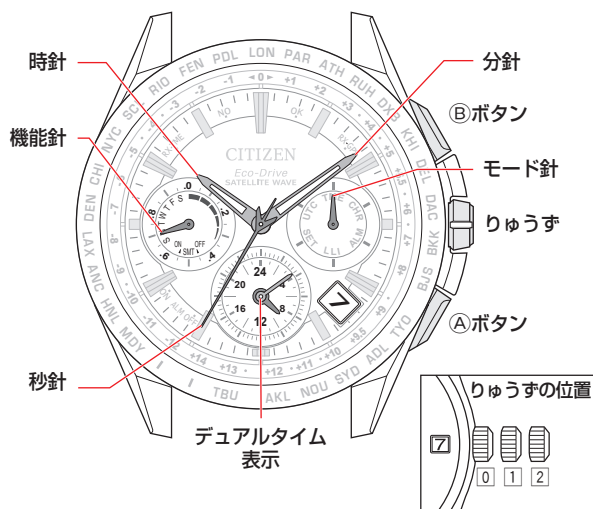


F900 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Web マニュアルをご参照下さい。 <https://citizen.jp/support/guide/html/f900/f900.html>

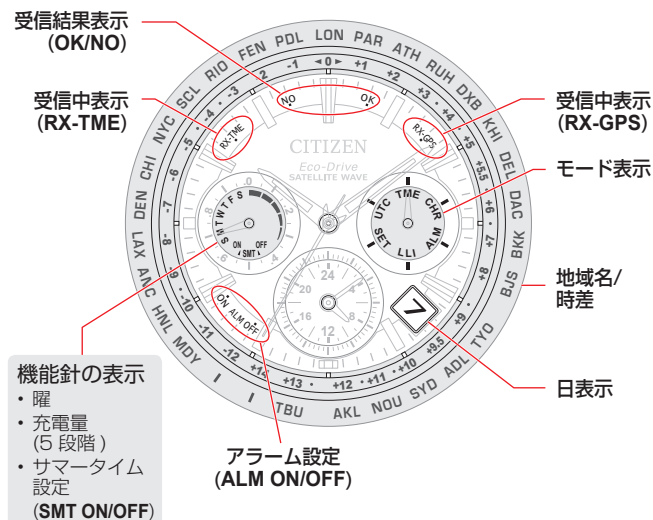
各部の名称

針とボタン



- モデルによってデザインは異なります。
- りゅうずは2段階に引き出せます。

表示



モードを切り替える

1. りゅうずの位置を **1** にする
秒針が 30 秒を指して停止します。
2. りゅうずを回して、モードを切り替える
• モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。

モード	表示内容
TME	ホームタイム (時針 / 分針 / 秒針 / 日表示 / 曜表示) とローカルタイム (デュアルタイム表示) を表示します。
LLI	発電量を確認するモードです。詳しくは、「発電量を確認する (ライトレベル インディケーター)」をご覧ください。
UTC	デュアルタイム表示に、常に UTC (協定世界時) を表示させるモードです。
CHR	クロノグラフを使うモードです。詳しくは、「クロノグラフを使う」をご覧ください。
ALM	アラームを使うモードです。詳しくは、「アラームを使う」をご覧ください。
SET	手動で、時刻 / カレンダーなどを合わせるモードです。詳しくは、「時刻・カレンダーを手動で合わせる」をご覧ください。

3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

充電量を確認する

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **0** にする
2. **B** ボタンを押す
機能針が充電量をレベル表示し、秒針が現在のホームタイムの時差の設定を指します。
• モード [LLI] では、充電量レベルが常に表示されます。

レベル	4	3	2	1	0
充電量表示					
およその持続時間	1.5 年 ~ 1 年	1 年 ~ 10 カ月	10 カ月 ~ 4 カ月	4 カ月 ~ 5 日	5 日以下
表示の意味	十分に充電されている	安心して使える	そろそろなくなる	ほとんどない	すぐに充電してください。

3. **B** ボタンを押して、終了する
秒針が、秒表示に戻ります。
• ボタンを押さなくても、10 秒間経過すると自動で戻ります。

発電量を確認する (ライトレベル インディケーター)

1. モードを [LLI] にして、りゅうずの位置を [0] にする
機能針が、充電量をレベル表示します。

2. ⑥ ボタンを押す

秒針が、発電量をレベル表示します。
・発電量は 1 秒間隔で測定され、レベル表示されます。

レベル	6	5	4	3	2	1	0
表示							
意味	発電量は、充電に適しています。		発電量レベルが「5」または「6」になるような、より明るい場所で充電してください。				

3. ⑥ ボタンを押して、終了する

秒針が、秒表示に戻ります。
・ボタンを押さなくても、30 秒間経過すると自動で戻ります。

衛星電波の受信結果を確認する

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を [0] にする

2. ① ボタンを押す

秒針が、前回の受信結果を指します。

OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

・受信結果では、位置情報の取得 / 時刻情報の取得の区別をしません。

衛星電波を受信する

・受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

位置情報を取得する

取得した位置情報から、自動でワールドタイムを設定し、ホームタイムの時刻 / カレンダー合わせを行います。

・位置情報の取得には、30 秒～2 分かかります。

・各地域のタイムゾーンについては、2015 年 1 月時点でのデータに基づいております。

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を [0] にする

2. ⑥ ボタンを 2 秒間押し続ける

・受信が終わると、秒針がワールドタイムの設定を指し、秒表示に戻ります。

時刻受信

・時刻受信には、3～30 秒かかります。

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を [0] にする

2. ① ボタンを 2 秒間押し続ける

・受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

うるう秒受信

・うるう秒受信には、36 秒～13 分かかります。

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を [0] にする

2. ① ボタンを 7 秒間押し続ける

秒針が一度「RX-TME」を指してから、一回転し再び「RX-TME」を指したら、ボタンを離します。

受信が始まります。

・受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

手動でワールドタイムを設定する

この時計は、UTC (協定世界時) 基準の 40 の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

1. モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を [2] にする

秒針がホームタイムの現在の時差の設定を指します。

・モードが [UTC] のときは、ホームタイムの時差の設定のみ変更できます。

2. ⑥ ボタンを押す

秒針がローカルタイムの現在の時差の設定を指します。

・⑥ ボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム / ローカルタイムの設定変更に切り替わります。

3. りゅうずを回して、時差を設定する

時刻表示が切り替わります。

4. りゅうずの位置を [0] にして、終了する

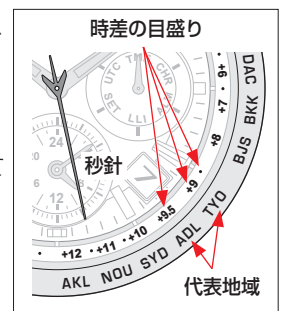
秒針が、秒表示に戻ります。

時差の設定の見かた

時計上には、時差の目盛りが 40 あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。

右の図では、秒針が 28 秒を指している、時差の設定は「+11.5」になっています。

・時差は、UTC 基準です。



時差と代表地域について

時差	秒針	表記	代表地域	時差	秒針	表記	代表地域
0	0 秒	LON	ロンドン	+12.75	31 秒	—	チャタム諸島
+1	2 秒	PAR	パリ	+13	32 秒	TBU	ヌクアロファ
+2	4 秒	ATH	アテネ	+14	34 秒	—	クリスマス島
+3	6 秒	RUH	リヤド	-12	36 秒	—	ペーカー島
+3.5	7 秒	—	テヘラン	-11	38 秒	MDY	ミッドウェイ諸島
+4	8 秒	DXB	ドバイ	-10	40 秒	HNL	ホノルル
+4.5	9 秒	—	カブール	-9.5	41 秒	—	マルケサス諸島
+5	10 秒	KHI	カラチ	-9	42 秒	ANC	アンカレジ
+5.5	12 秒	DEL	デリー	-8	44 秒	LAX	ロサンゼルス
+5.75	13 秒	—	カトマンズ	-7	46 秒	DEN	デンバー
+6	14 秒	DAC	ダッカ	-6	48 秒	CHI	シカゴ
+6.5	15 秒	—	ヤンゴン	-5	50 秒	NYC	ニューヨーク
+7	16 秒	BKK	バンコク	-4.5	51 秒	—	カラカス
+8	18 秒	BJS (HKG)	北京 / 香港	-4	52 秒	SCL	サンティアゴ
+8.75	20 秒	—	ユークラ	-3.5	53 秒	—	セント・ジョンズ
+9	21 秒	TYO	東京	-3	54 秒	RIO	リオデジャネイロ
+9.5	23 秒	ADL	アデレード	-2	56 秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
+10	25 秒	SYD	シドニー	-1	58 秒	PDL	アゾレス諸島
+10.5	26 秒	—	ロード・ハウ島				
+11	27 秒	NOU	ヌーメア				
+11.5	28 秒	—	ノーフォーク島				
+12	29 秒	AKL	オークランド				

ホームタイム / ローカルタイムを入れ替える

1. モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を [0] にする

2. ① ボタンと ⑥ ボタンを同時に押す

確認音が鳴り、ホームタイム / ローカルタイムの時刻が入れ替わります。

・日表示 / 曜表示は、新たにホームタイムとして表示される時刻に基づきます。

サマータイムを表示させる

1. モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を **2** にする
機能針が、ホームタイムのサマータイム設定 (SMT ON/OFF) を指します。
・モードが [UTC] のときは、ホームタイムのサマータイム設定のみ変更できます。
2. **Ⓐ ボタンを押す**

SMT ON	サマータイムが表示されます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。

・Ⓐボタンを押すごとに、SMT ON/OFF が切り替わります。
3. **Ⓑ ボタンを押す**
機能針が、ローカルタイムのサマータイム設定 (SMT ON/OFF) を指します。
・Ⓑボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム / ローカルタイムの設定変更に切り替わります。
4. **Ⓐ ボタンを押して、ローカルタイムのサマータイム設定を切り替える**
5. りゅうずの位置を **0** にして、終了する
秒針が、秒表示に戻ります。

クロノグラフを使う

1/20 秒単位、最大 23 時間 59 分 59.95 秒まで表示することができます。

1. モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を **0** にする
0.00 秒が、表示されます。
2. 計測する

スタート / ストップ : Ⓑボタンを押します。
・1/20 クロノグラフ秒は、ストップ中のみ機能針に表示されます。

リセット : ストップ中に、Ⓐボタンを押します。

計測終了後は

リセットを行い、モードを「TME」にします。

アラームを使う

アラームは、常にホームタイムの表示時刻に基づきます。

1. モードを [ALM] にして、りゅうずの位置を **2** にする
デュアルタイム表示に、現在のアラームの設定時刻が表示され、秒針が、現在のアラーム設定 (ALM ON/OFF) を指します。
・アラームの設定時刻を見やすくするため、時針と分針が一時的に移動することがあります。
2. りゅうずを回して、アラームの時刻を設定する
・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
3. **Ⓐ ボタンを押して、アラーム設定 (ALM ON/OFF) を設定する**
・Ⓐボタンを押すごとに、設定が切り替わります。
4. モードを [TME] にし、りゅうずの位置を **0** にして、終了する
秒針が、秒表示に戻ります。

アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。

うるう秒の設定を確認・修正する

- ・うるう秒の設定の修正は、うるう秒受信で自動で行うこともできます。

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構・日本標準時グループのサイトでご覧いただけます。

<http://jijy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>

1. モードを [SET] にして、りゅうずの位置を **2** にする
秒針が 0 秒を指して、停止します。
2. **Ⓑ ボタンを 2 秒間以上押す**
秒針と分針が「0 分 0 秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「- 36 秒」のとき	うるう秒の設定が「- 65 秒」のとき
「0 分 36 秒」を指します。	「1 分 5 秒」を指します。
3. うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する
・修正できる範囲は、0 秒から - 90 秒です。
4. モードを [TME] にし、りゅうずの位置を **0** にして、終了する
秒針が、秒表示に戻ります。

時刻・カレンダーを手動で合わせる

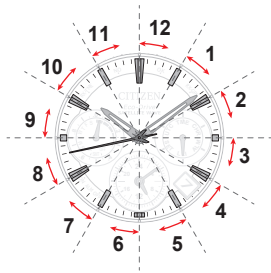
ホームタイムの表示時刻 / カレンダーを手動で合わせます。

- ・あらかじめ、「手動でワールドタイムを設定する」でワールドタイムの設定を行ってください。
- ・ローカルタイムの時刻は、ホームタイムの手動合わせ後に、時差の設定に応じて自動で修正されます。

1. モードを [SET] にして、りゅうずの位置を [2] にする
秒針が 0 秒を指して、停止します。
2. ① ボタンを 2 秒間以上押し続ける
分針が少し動き、時刻 / カレンダー合わせができるようになります。
3. ① ボタンをくり返し押して、合わせる針 / 表示を選ぶ
 - ・ ① ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。
時・分 → 日 → 年 / 月 → 曜 → (始めに戻る)
 - ・ 針 / 表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
4. りゅうずを回して、針 / 表示を合わせる
 - ・ 時・分・日表示は連動します。午前 / 午後の違いに注意します。日表示が切り替わったときが午前です。
 - ・ 日表示は、機能針が 5 回転すると切り替わります。
 - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - ・ 年と月は、秒針で表示されます。

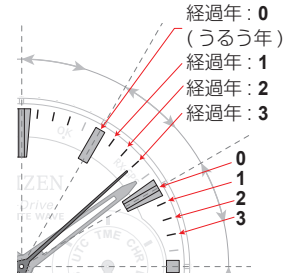
月の表示

「月」は、左図の 12 の矢印の範囲で表示されます。各数字が月に対応します。



年の表示

「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。

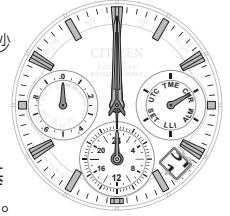


- ・ うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい説明があります。

5. 手順 3 と 4 をくり返す
6. 時報に合わせて、りゅうずの位置を [0] にする
秒針が 0 秒から動き出します。
7. モードを [TME] にして、終了する

基準位置を確認する

1. モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を [2] にする
秒針 / デュアルタイム表示 / 機能針が、0 の位置を指して、停止します。
2. ① ボタンを押し続ける
各針 / 表示が現在の基準位置に移動し始めます。
・ 針が動き出したらボタンを離します。
3. 基準位置を確認する
時針 / 分針 / 秒針の位置：0 時 00 分 0 秒
日表示の位置：「31」と「1」の間
機能針の位置：「0」（真上）
デュアルタイム表示：0 時 00 分



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順 3 に進みます。

4. りゅうずの位置を [0] にする
5. モードを [TME] にして、終了する

基準位置を修正する

1. モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を [2] にする
秒針 / デュアルタイム表示 / 機能針が、0 の位置を指して、停止します。
2. ① ボタンを押し続ける
各針 / 表示が現在の基準位置に移動し始めます。
・ 針が動き出したらボタンを離します。
3. ① ボタンを押す
機能針が少し動き、機能針と日表示の基準位置の修正ができるようになります。
4. ① ボタンをくり返し押して、修正する針 / 表示を選ぶ
 - ・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
機能針 / 日表示 → デュアルタイム表示 → 時針 / 分針 → 秒針 → (始めに戻る)
 - ・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
5. りゅうずを回して、針 / 表示を修正する
 - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
6. 手順 4 と 5 をくり返す
7. りゅうずの位置を [0] にする
8. モードを [TME] にして、終了する

オールリセットを行う

1. モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を [2] にする
2. ① ボタンと ② ボタンを同時に 4 秒間以上押して、離す
ボタンから手を離すと、アラームが鳴り、各針が現在の基準位置に動きます。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の 1 月 (5 秒の位置)
ワールドタイム	時差 0 (LON)、ロンドン
受信結果	NO
サマータイム	全ての地域で、SMT OFF
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前 0 時 0 分
うるう秒	オールリセットしても変更されません。
ロールオーバー数	

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、時刻 / カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。